

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	美術	担当 教員	山本卓見 (非常勤)			
学年学科	1 年 全学科	前期または後期	必修	1 単位		
学習・教育目標	(A-3) 100%					
授業の目標と期待される効果： 1 各自の自由なイメージによる作品を制作する。 2 柔軟な発想力、多様な表現力を養う。 3 日常における美意識を高め、豊かな感性を育てる。		成績評価の方法： 課題作品 100 点×3=300 点 製作レポート 50 点×3=150 点 以上を合計し、得点率 (%) で成績をつける。				
		達成度評価の基準： 1. 自由なイメージを具象化できる。 2. 柔軟な発想力を身につける。 3. 日常における美意識を高める。				
授業の進め方とアドバイス： 制作を中心に行うので、材料・道具・画材など、各自必要とするものをしっかり準備する。自分自身のイメージの表現に徹すること。						
教科書および参考書： 適宜、教員が指示する。						
授業の概要と予定：前期						AL のレベル
第 1 回：授業概要・制作課題の説明						
第 2 回：自画像 (自己の発見と表現) 鉛筆・絵の具・クレヨンなど、あらゆる画材・技法を用いて自己表現する。						
第 3 回：自画像						
第 4 回：作品発表会・講評・制作コンセプトのレポート提出。						
第 5 回：平面課題 (想像力と表現力の融合) 日本のイメージを、塗る・描く・貼るなどあらゆる技法・画材を用いて表現する。						
第 6 回：平面課題						
第 7 回：平面課題						
第 8 回：作品発表会・講評・制作コンセプトのレポート提出						
第 9 回：立体課題 (表現領域の拡大) 生活廃材を素材に、心の中の情景 (過去・現在・未来) を立体作品として表現する。						
第 10 回：立体課題						
第 11 回：立体課題						
第 12 回：立体課題						
第 13 回：立体課題						
第 14 回：立体課題						
第 15 回：作品発表会・講評・制作コンセプトのレポート提出						

評価 (ルーブリック)

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	自由なイメージを、ほぼ正確(8割以上)に具象化することができる。	自由なイメージを、ほぼ正確(6割以上)に具象化することができる。	自由なイメージを、具象化することができない。
②	柔軟な発想力を、ほぼ十分(8割以上)に身につけることができる。	柔軟な発想力を、ほぼ十分(6割以上)に身につけることができる。	柔軟な発想力が身につけていない。
③	日常における美意識を、ほぼ十分に(8割以上)に高めることができる。	日常における美意識を、ほぼ十分に(6割以上)に高めることができる。	日常における美意識を高めることができない。